

活動テーマ 社員さんと共に 「学 即 実 践」 経営者こそ先頭を立て

— 厳しい時代だからこそ学んだものが勝つ —

I 日創研東京経営研究会の機能と目標

中小企業にとっては依然として厳しい経営環境が継続と思われまます。こういう時だからこそ会員各企業は経営者が率先して社員さんと共に学び、学び続ける組織・考える力を兼ね備えた組織にしていくことが急務であると考えます。

日創研東京経営研究会は、会員企業がそういった組織に近づくために、共に魅力ある学びの場を創造し、そこから学んだことを自社の活性化と業績アップという進化につなげていくことを目標としていきます。

① 普遍的な経営の基本を学ぶ

経営理念や経営計画といった基本を深める学びを継続する。

また経営者・幹部の資質を磨く勉強に取り組む。

② 時流に即した実践的で即効性の期待できるテーマを学ぶ

特に現場力をアップさせるために、時代に即応した具体的な戦略・戦術を学ぶ。

売上・利益の向上、人財育成は多くの会員企業が課題ととらえているので、そこに重点をおいていく。

③ 公式教材を効果的に利用する勉強法、ありがとうあふれる社風づくりを具体的に学ぶ

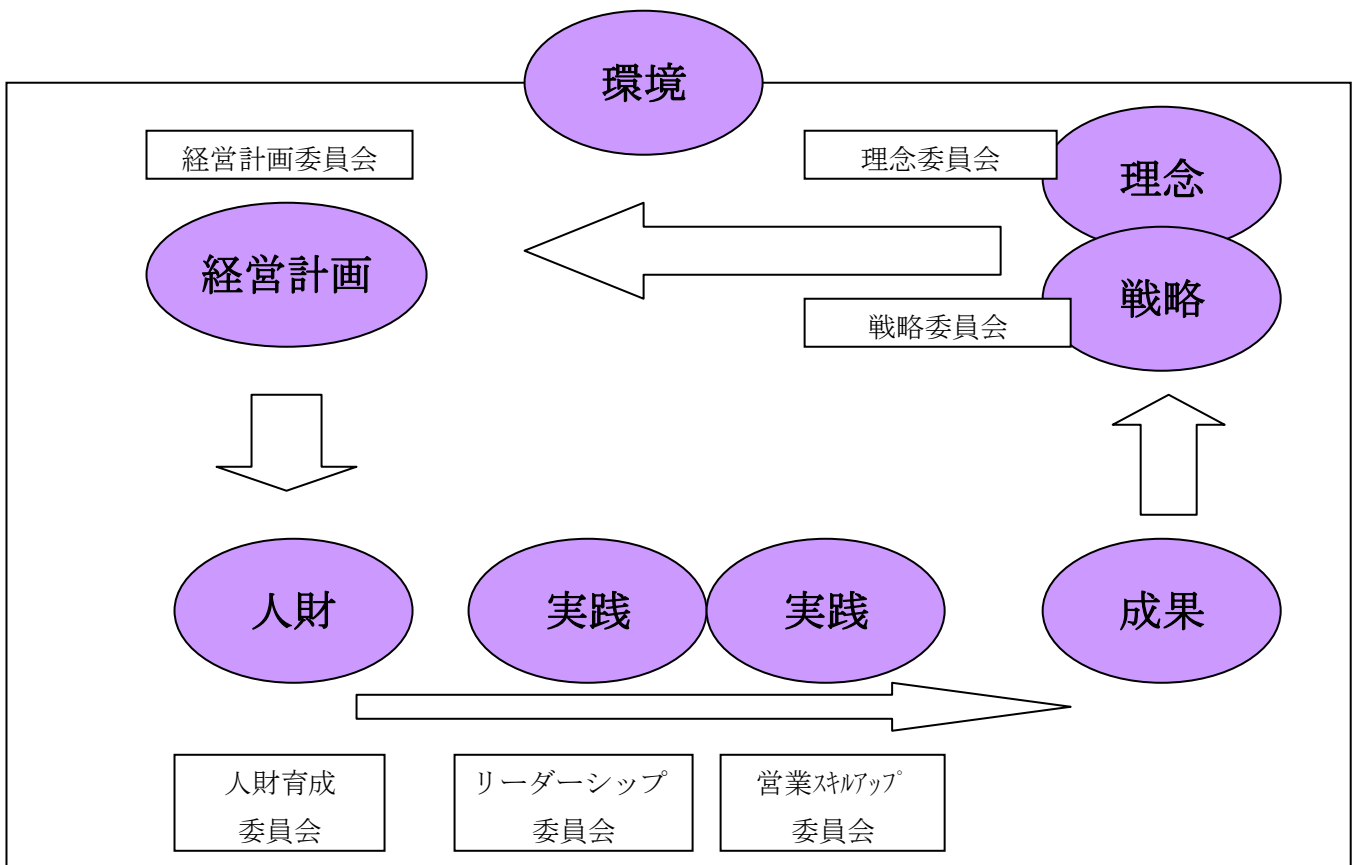
月刊誌「理念と経営」からベンチマークして、経営改善につなげる学びを行なう。

④ 幹部・社員さんの例会参加機会を増やし、三位一体を促進する。

⑤ 新規入会の増員を図るためにも、12回の例会の品質向上に重点をおく。

⑥ 以上の取組を通じて例会出席率 70%を達成する

⑦ 2014年1月に「西東京経営研究会」設立を念頭においた準備を進める



Ⅱ 委員会の方向性

① 経営研究室

(1) 経営理念委員会

経営理念は企業経営の根幹をなすものであり、理念経営は私たちが目指すひとつの究極の目標です。その理念経営を実現している数少ない企業にスポットを当て、具体的に研究していきます。

(2) 経営戦略委員会

時流に即したテーマ、主にマーケティングにおける現場力(管理力)に視点を当て、具体的な実践方法を深めていきます。数多くの事例や会員企業の分析で、より身近なところに焦点を当てていきます。

② 経営計画室

(3) 営業スキルアップ委員会

時流に即したテーマを設定し、三位一体(社長力・管理力・現場力)に視点を当てた実践的な研究を行ない、営業力のアップに取り組んでいきます。

(4) 経営計画委員会

理念と戦略を実現していくには計画が適切な経営計画が必要です。立案と進捗管理をきちんと行なうためにも、9月の全国経営発表大会を目標におき、経営の基本である「経営計画」の勉強を深めていきます。

③ 社内活性化室

(5) リーダーシップ委員会

本部方針のひとつであるありがとうあふれる社風づくりに具体的に取り組めます。そのツールである公式教材「理念と経営」からベンチマーク企業を定めて経営改善に努め、同時にその普及を図っていきます。

(6) 人財育成委員会

立案された経営計画を実行していくには優秀な現場力が必要です。ひとりひとりの社員さんに光を当て、優れた業績をあげている企業に焦点を当て、学び続ける組織・考える力を備えた組織を作るための人財育成方法を研究します。

④ 事務局

(7) 総務拡大活性化委員会

会の効果的・効率的運営に関する実務を担当します。また会の活性化、新規の会員さんのフォローなどを通じて企業活動の活性化と実務を深める勉強も行ないます。また新入会員さんの受入の土壌づくりもしていきます。

⑤ 例会運営活性化室

学びの深い例会を作り上げるには、各委員会の研究テーマとともに、例会の進行等の質の高い運営が欠かせません。より深い学びと入会希望者が共に学びたいと感じることの出来る例会づくりを支えています。

⑥ 経営支援室

会の貴重な資産であるベテラン経営者の経験やノウハウを会全体で共有して、会員各社の経営に役立てることを目標にします。また気軽に経営相談を持ちかけられる当会のメリットを最大限に生かし、個々の会員さんの悩みや課題、あるいは業績向上のための相談をベテラン経営者に受けていただき、「社外取締役」として多方面からの支援を行ないます。

以上